

平成29年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成
～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～

2. 研究の目的

本事業は、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成することによって、地方創生の一翼を担う人材を育成する。そのために、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究する。あわせて、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指す。

3. 実施期間

契約日から平成30年3月15日まで

※ 最長で当該年度の3月15日（3月15日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

4. 当該年度における実施計画

平成26年度からの3年間は九州大学をはじめ農業研究機関、農業関連企業や農業生産法人、さらには先進的に農業経営を行っている農家等との連携を図りながら、都市園芸に関する専門的な知識を身につけたアグリスペシャリストの育成を行った。

平成29年度については、事業目標や目的等を明確に示した5年間のロードマップをもとに、各学年での実施計画及び目指す生徒像のモデルケースを明確にし、本科及び専攻科でのプラクティカルトレーニング、評価基準、都市園芸科と専攻科との取組などについて以下のとおり研究を進める。

①研究4年目のプログラムの実践

本事業の対象学年である専攻科1年生と本科での事業内容及び評価方法の検証を中心に研究プログラム（ロードマップ：基本研修：1年生、実践的研修：2・3年生、発展的研修：専攻科1・2年生）を実践する。特に、評価方法についてはルーブリック評価などにおける個人の記録をポートフォリオ評価につなげる仕組みについて検証する。

さらに、ホームページを活用し、研究成果など常に新しい情報を発信して本科と専攻科の魅力伝える。

第1学年では、都市型農業に必要な知識・技術及び職業人として必要なコミュニケーション能力等を身につけさせるため、産業としての農業の魅力や農業の担い手への興味・関心を喚起するとともに、企業の農業参入についての研修や6次産業化先進校（長崎県立諫早農業高等学校）との交流を継続して実施する。

第2学年では、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成及びさらなる職業人として必要なコミュニケーション能力等の育成のため、プラクティカルトレーニングを全員で実施す

る。具体的には農家、農業生産法人、及び農業関連の事業所でのトレーニングを農業経営の視点を踏まえて、夏と冬の2回実施する。

第3学年では、都市型農業の経営感覚を身につけさせるとともに、6次産業化を推進できる知識や技術を習得させるため、LED照明装置を活用した植物工場における様々な野菜栽培及び経営についての実践的な学習を行う。また、社会人講師による起業についての講義や、農業法人設立の疑似体験をとおして、農業経営学及び農業を取り巻く社会情勢についても理解を深める。さらに、学校設定科目の教育内容等により、食の6次産業化プロデューサー（以下、食プロ）レベル2の取得に向けて学習する。

専攻科では、地域で活躍する農業及び農業関連産業のプロフェッショナル人材の育成のため、九州大学をはじめとする研究機関とさらに連携を深め、卒業研究についての共同研究を通して学習内容のレベルアップを図るとともに、最終的に研究の成果発表を目指す。また、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成をねらいとして、プラクティカルトレーニングを1年生全員で実施する。実施にあたっては、昨年度の課題をもとに、実施時期や実施期間などについて関係機関との連携を密に図りながら、経営感覚を身につける実践的な実習を行う。評価基準については学生・教員側の双方向から成果を評価できるものを作成する。資格取得については、特別講義による食プロレベル1・2の全員取得、及びレベル3の学習を行う。また、農業関連企業で必要な実用的資格として、毒劇物取扱責任者や実用英語技能検定2級以上の資格取得についても積極的に取り組む。

さらに、本年度より5年次の海外研修を見据えたプログラムの開発を図る。具体的には、「ビジネス中国語入門」、「オーラルコミュニケーション」、及び「総合選択」6科目を新設し、国際的な視野を備えたアグリビジネスマンの育成を行う。また、農業生産法人での長期研修（単位認定）、農家レストランの経営企画・模擬運営などの実習ができる環境の整備を行う。

②経営感覚を身につけた人材の育成に向けたプログラムの計画・実践

5年間の継続研究においては、運営指導委員及び研究推進委員の助言を参考に、社会人基礎力及び経営感覚を身につけた人材を育成するために、キャリアデザインノートを都市園芸科と専攻科の専門科目及び特別活動等で活用する。生徒版では、学年の発達段階に応じて、社会人基礎力をはじめ、経営感覚を身につけるための評価指標を設定し、生徒が自己評価できるようにする。教師版では、生徒版の内容と連動しながら、生徒一人一人の資質・能力を高めるための評価指標を設定し、その達成に向け、研究プログラムを実施するとともに、効果的な活用法とキャリアデザインノートの完成に向けて検証するとともに、その成果を他校へ公開する。

また、本科と専攻科の学習活動を通じて具体的な人物像（職業人）を挙げ、どの科目を学べば自身の目指す姿につながるか等の構想図を早期に作成して、見える化したモデルケースを生徒に提示する。

③関係機関との連携強化

関係機関との連携では、プラクティカルトレーニング及び視察研修や社会人講師による特別講義などの事業の有効性について外部評価及び助言をいただくとともに、生徒・学生の進路実現につながるよう連携のさらなる強化を図る。

また、県内の農業高校との連携において、合同販売会等を運営・実施することにより、他校の生徒をとおして本研究の成果を普及させる。

④アグリスペシャリストを育成するための教育課程の検討

都市型農業における専門的な技術と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成のために、食プロにおいて「食農マネジメントⅠ」による学習を実施し、次年度の「食農マネジメ

ントⅡ」にレベルアップさせる。加えて、専攻科での特別講義による食プロレベル3の学習を
実践し、都市園芸科と専攻科の5年間の継続した教育につなげていく。具体的には、「生産工
程管理」と「食農マネジメント」の内容を継続して学ぶ「アグリマネジメント」と「グリーン
ツーリズム論」の科目を導入し、筋道が見えるよう新しい教育課程を設定した。

また、5年間のまとめとして、社会で活躍できる実践的な知識・技術を身につけられるよ
うな魅力ある教育内容の見直しや大学編入に向けた教育課程の検討を行う。

⑤効果測定について（アンケート調査及び自己・相互評価法で実施。対象は生徒及び指導者）

	定性目標	定量目標
フ ロ ン テ ィ ア 学 習	①専攻科と都市園芸科の連携：年6回以上 ②園芸学会の発表に向けた関係機関との共同研 究：2カ月に1回以上 ③園芸学会への参加及び発表：1回以上 ④実験機器の活用：通年 ⑤企業の農業参入研修及び先進農家への視察： 4件以上	①生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ②関係機関からの評価 5段階評価3.5以上 ③生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ④機器稼働率 70%以上（稼働日/出校日 ） ⑤生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上
マ ネ ジ メ ン ト 学 習	①プラクティカルトレーニングの実施： ・都園2年生（夏、冬の各4日間）合計8日間 ・専攻科1年生 6日間以上 ②食の6次産業化視察研修：2件以上	①生徒の満足度 5段階評価3.5以上 受入先の満足度 5段階評価3.5以上 ②生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上
ス キ ル ア ッ プ 学 習	①社会人講師による授業：年10回以上 ②食プロ講習 ・食プロレベル1：専攻科1年生全員受講 都園2年生は「食農マネジメントⅠ」で実 施 ・食プロレベル2：10名以上受講 ③各種資格取得： ・日本農業技術検定3級：都園1年生全員 ・日本農業技術検定2級：専攻科1年生全員 ・フラワー装飾技能士3級：都園の希望者 ・毒劇物取扱責任者：専攻科の希望者	①生徒の理解度・満足度 5段階評価3.5以上 ②外部講師からの評価 5段階評価3.5以上 食プロレベル1取得率 90%以上 食プロレベル2取得率 80%以上 ③資格取得合格率 日本農業技術検定3級 70%以上 日本農業技術検定2級 30%以上 フラワー装飾技能士3級 90%以上 毒劇物取扱責任者 40%以上
総 括	卒業後の進路：農業及び農業関係企業への就 職、進学率が前年度の実績比10%増	高校生活の満足度 70%以上

※都園は都市園芸科を指す。

都市園芸科 1 年	基本研修
<p>【マネジメント学習】 6次産業化研修Ⅰ（大地のめぐみ） 農業高校生との交流（長崎県立諫早農業高等学校）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「企業の求める人材Ⅰ」「世界の食糧事情について」 日本農業技術検定3級取得</p>	
都市園芸科 2 年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】 専攻科との連携（講義・実習の受講） 専攻科の卒業研究発表会見学</p> <p>【マネジメント学習】 夏・冬季休業中のプラクティカルトレーニングの実施及び報告会の実施 農業生産法人の視察研修（農事組合法人 大木しめじセンター） 6次産業化研修Ⅱ（道の駅 大木）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「企業の求める人材Ⅱ」「効果的なプレゼンテーション演習」 学校設定科目「生産工程管理」によるGAPの学習 学校設定科目「食農マネジメントⅠ」による食プロレベル1の取得</p>	
都市園芸科 3 年	実践的研修
<p>【フロンティア学習】 LED栽培装置による植物の栽培実験</p> <p>【マネジメント学習】 農業高校生との交流（佐賀県立佐賀農業高等学校） 6次産業化研修Ⅱ（やさい直売所マッちゃん）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「起業方法について」「農業法人設立の擬似体験」 学校設定科目「食農マネジメントⅡ」の学習による食プロレベル2の取得に向けての学習 フラワー装飾技能士3級取得（希望者）</p>	
専攻科 1 年	発展的研修（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習）
<p>【フロンティア学習】 都市園芸科2年生への学習指導及び活動報告 卒業研究発表会（発表補助） 九州大学農学部附属農場視察研修</p> <p>【マネジメント学習】 プラクティカルトレーニングの実施及び報告会の実施 先進農家研修（北部農園、JR九州ファーム） 企業視察研修（福岡大同青果株式会社）</p> <p>【スキルアップ学習】 食プロレベル1及び2取得、日本農業技術検定2級取得 毒劇物取扱責任者取得（希望者）</p>	
専攻科 2 年	発展的研修（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習）
<p>【フロンティア学習】 九州大学と連携した卒業研究 九州大学農学部附属農場視察研修 卒業研究発表会</p> <p>【マネジメント学習】 先進農家研修（北部農園、JR九州ファーム） 企業視察研修（福岡大同青果株式会社）</p> <p>【スキルアップ学習】 社会人特別講師招聘「食プロレベル3の概要について」</p>	

毒劇物取扱責任者取得（希望者）	
共 通	
○「経営感覚を身につけた人材」評価指標作成、プラティカルトレーニング評価基準作成 ○年2回の運営指導委員会を開催する。 ○キャリアデザインノートの活用 ○月1回の研究推進委員会を開催する。 ○農業高校との合同販売会の実施 ○ホームページを活用した活動報告（随時） ○成果報告会の実施 ○アンケート調査、進路分析 ○研究5年次に向けての学習環境整備	

5. 実施体制

(1) 運営指導委員

氏名	所属	役職
岡本 正宏	九州大学大学院農学研究院	主幹教授
比良松 道一	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	准教授
富永 修子	福岡県農業大学校	教務部長
仁田原 靖子	福岡県農林水産部 経営技術支援課 後継人材育成室	企画主幹
井手 正宏	農業組合法人 豊地の郷	組合長
井上 淳一	J A 筑紫	企画管理部 部長
樋口 勤	博多さんか園	店長
廣石 政彦	株式会社 久原本家 購買部購買課	新規原料係 係長
下川 雄一郎	福岡県教育センター 産業・情報教育部	部長
相原 康人	福岡県教育庁教育振興部高校教育課	課長

(2) 研究担当者

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
鬼木 清	主幹教諭	企画及び総務、工程管理（本科及び専攻科）・生物工学
白水 康二	教 諭	企画及び総務、工程管理（本科）・野菜
亀田 諭	主幹教諭	（フロンティア学習担当）・野菜
岡部 英紀	教 諭	（マネジメント学習担当）・草花
善積 徹	教 諭	（スキルアップ学習、本科資格取得担当）・草花
中村 哲司	教 諭	（マネジメント学習担当）・果樹
合原 竜	実習助手	（スキルアップ学習担当）・野菜
原口 和文	実習助手	（マネジメント学習担当）・草花
小出 芳道	教 諭（専攻科）	（フロンティア学習担当）学校設定科目検討・蔬菜園芸
井手 正明	教 諭（専攻科）	（スキルアップ学習担当）・フードサイエンス
古賀 正輝	助教諭（専攻科）	（マネジメント学習、会計担当）・花卉園芸
岳 良介	実習助手（専攻科）	（スキルアップ学習、専攻科資格取得担当）・園芸利用
八尋 一成	実習助手（専攻科）	（フロンティア学習担当）・栽培環境

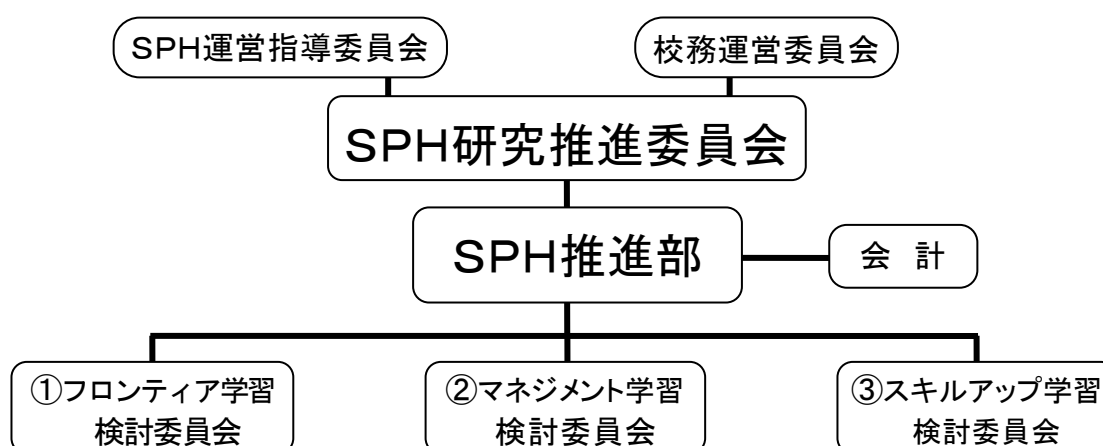
(3) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
森高 政博	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・農業資源経済学
片倉 喜範	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・生物機能科学
瀬戸 衛二	(株) 太宰府遊園地・園長	研究の評価及び助言・流通
泊 義隆	福岡農業高校・校長	研究の運営
古賀 浩利	福岡農業高校・教頭	研究の企画及び運営
薦田 源一	福岡農業高校・専攻科教頭	研究の企画及び運営 (総括)
亀田 諭	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
鬼木 清	福岡農業高校・主幹教諭	研究の企画推進及び工程管理・バイオ技術
白水 康二	福岡農業高校・教諭	研究の企画推進及び工程管理・野菜
岡部 英紀	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
善積 徹	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
中村 哲司	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・果樹
小出 芳道	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・栽培環境
井手 正明	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・フードサイエンス
古賀 正輝	福岡農業高校・助教諭	研究の推進及び工程管理・園芸利用

(4) 校内における体制図

効果的に本事業を推進するために、以下のような委員会を設立し、定期的な委員会を開催する。

- ①SPH運営指導委員会 (6月、12月)
- ②SPH研究推進委員会 (年2回開催)
- ③SPH推進部 (随時)
- ④各種検討委員会 (毎月1回開催)



6. 研究内容別実施時期

※都園とは都市園芸科を指し、専攻は専攻科を指す。

月	学年	実施内容
4月	都園1	新入生アンケート調査
	都園2	【スキルアップ学習】・学校設定科目「食農マネジメントⅠ」「生産工程管理」授業開始
	都園3	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始（～1月） 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「起業方法について」 ・学校設定科目「食農マネジメントⅡ」授業開始
	専攻2	【フロンティア学習】・九州大学と連携した卒業研究開始
5月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘②「企業の求める人材Ⅰ」
	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘③「農業法人設立の擬似体験」
	全学年：SPH及び学校生活に関する意識調査、キャリアデザインノート配布・活用	
6月	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義①「花卉園芸」講義・実験 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘④「企業の求める人材Ⅱ」
	専攻1	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 北部農園、JR九州ファーム） ・専攻科特別講義①「花卉園芸」実験指導 【スキルアップ学習】・食プロレベル1特別講習（全員）
	専攻2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑤「食プロレベル3の概要について」
	第1回運営指導委員会	
7月	都園2	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【スキルアップ学習】・食プロレベル2特別講習（全員）
8月	専攻1	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員） 【スキルアップ学習】・毒劇物取扱責任者受験（希望者）
	専攻2	【スキルアップ学習】・毒劇物取扱責任者受験（希望者）
9月	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義②「水耕栽培Ⅰ」講義・実習 【マネジメント学習】・農業生産法人視察研修「大木しめじセンター」 ・6次産業化研修①「道の駅 大木」 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑥「効果的なプレゼンテーション演習」
	都園3	【スキルアップ学習】・フラワー装飾技能士3級受験（希望者）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義②「水耕栽培Ⅰ」実習指導
10月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑦「世界の食糧事情について」
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義③「水耕栽培Ⅱ」講義・演習
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義③「水耕栽培Ⅱ」実習指導 ・九州大学農学部附属農場視察研修 【マネジメント学習】・企業視察研修「福岡大同青果株式会社（卸売業）」
	専攻2	【フロンティア学習】・九州大学農学部附属農場視察研修 【マネジメント学習】・企業視察研修「福岡大同青果株式会社（卸売業）」
11月	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義④「高速液体クロマトグラフィーによる分析実験」
	都園3	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「佐賀県立佐賀農業高等学校」 ・6次産業化研修②「やさい直売所マッちゃん」

	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義④「高速液体クロマトグラフィーによる分析実験」 実習指導
	専攻2	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘⑧「アグリ・マネジメント」
	全国産業教育フェア秋田大会 ポスター発表	
12月	都園1	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「長崎県立諫早農業高等学校」 ・6次産業化研修③「大地のめぐみ」 【スキルアップ学習】・日本農業技術検定3級受験（全員）
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義⑤「卒業研究発表会」 ・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義⑤「卒業研究発表会」発表補助 【スキルアップ学習】・日本農業技術検定2級受験（全員）
	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義⑤「卒業研究発表会」発表、運営
	全学年：SPH及び学校生活に関する意識調査 第2回運営指導委員会、成果発表会	
1月	都園2	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング報告書作成 【スキルアップ学習】・食プロレベル1申請
	都園3	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
	専攻2	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
2月	年間反省、次年度計画	
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出	

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし	余白	余白	余白	余白

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・~~無~~

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載